



お年寄りの怪我で最も気をつけなければいけないのが手首の骨折(とう骨下端骨折)。

手首の骨折に気をつけて！

Q 私の祖母が転んで手首が腫れてしまいました。どんな怪我が考えられますか？

長谷部 まずレントゲンを撮ってみましょうがよいのですが、とう骨下端骨折が最も考えられます。腕の骨は親指側の方のとう骨という骨と小指側の尺骨という2本の骨からなります。転んだ際、とう骨の下の方に大きな力が加わり骨が折れてしまつたのです。

大きな腫れ、スプーン状の変形、手の痺れなどの症状が認められます。特にお年寄りの女性に多く、骨粗しょう症の強い方が受傷されやすいようです。

Q 怪我をしてしまったらどうすればよろしいですか？

長谷部 まず家庭で緊急にできることは、腕

を副木(幅5センチ×長さ30センチ位。ダンボールの切れ端でよい)で固定し、やや高めに挙げ(三角巾でつって)おいてもよい。氷嚢を当て冷やしておいてください。そしてなるべく早く近くの医療機関に連絡をとり、整形外科医の診察をうけましょう。なぜなら、ずれた骨は早ければ早いほど元に戻しやすいからです。時間が経ちすぎると正しい位置に戻せなくなり後遺症となる可能性が大きくなります。熟練した整形外科医に整復固定術をして頂きましょう。

それでも骨を上手く戻せなかった場合は手術になることもあります。骨は1ヶ月位で固くなりますが、固定を数週間すると、同時に関節が固くなり使いにくくなつてしまうのでさらにリハビリが必要です。医師や理学

療法士の指導を受け、一刻も早く生活に戻れるよう頑張りましょう。



長谷部 了院長 profile

昭和61年、群馬大学医学部を卒業し群大整形外科教室に入局。手および肘の手術を多数経験する。平成10年「はせべ医院」を開院。日本手の外科学会会員・日本リウマチ財団登録医

橈骨遠位端骨折

●症状

手首に強い痛みがあり、短時間のうちに腫れてきます。時に、変形がみられます。指に力が入らず、十分ににぎることができません。骨折部は不安定で反対側の手で支えるひつようがあります。

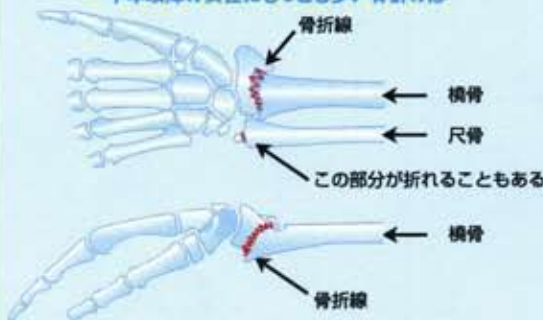


フォーク状変形
横から見た場合にフォークを伏せておいたような形

●診断

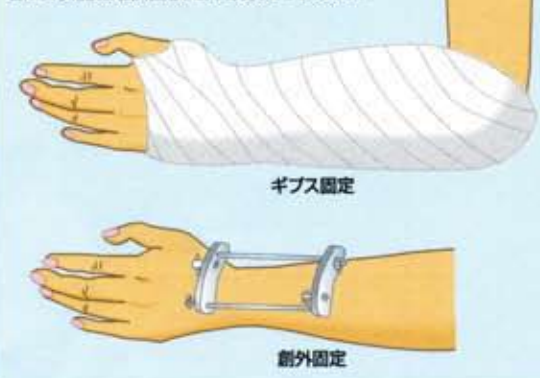
転んで手を突いて、痛み・腫れが出たような場合には骨折が疑われます。診断にはX線検査が必要です。

中年以降の女性にもっとも多い骨折の形



●治療

骨折のズレは手を引っ張ったりなどして、元の形近くに戻します。ギプスなどの固定をします。ギプス固定中であっても手指はつめて動かすようにします。ギプス固定してもまたずれてしまうような場合には、手術療法(創外固定など)が必要なこともあります。



ギプス固定

創外固定

取材協力



日曜日も診療しています!
整形外科 はせべ医院
TEL.027(361)0177

高崎市井野町983
(駐車場50台完備)

- 診療時間 9:00~12:00
15:00~18:00
- 休診日 木曜午後、金曜、祝日

